



# あおぎりの花

ともに学び ともに生きる 心美しき子ども

第4号(文月)

令和7年7月17日

山梨大学教育学部附属小学校

<https://www.agr.yamanashi.ac.jp/>

創立150年 文責：山本

## 1学期のご協力、ありがとうございました！！

猛暑の訪れとともに、早いもので7月18日には終業式を迎え、1学期71日間が終わろうとしています。この1学期は、修学旅行をはじめ、春の校外学習や町探検、また、附属4校園のみなさんとの交流活動、公開研究会等、学校内外での行事が多く計画されていたところですが、子供のがんばりと保護者の皆様のご協力により、いずれも充実した取組とすることができました。

また、6月からは水遊び・水泳運動の授業も始まり、感染症や熱中症対策、事故の未然防止に向けた安全管理の徹底を図って参りましたが、こちらも子供の健康管理等に関わる保護者の皆様のご協力のおかげをもちまして、幸いにも大きな事故やけがもなく教育課程の内容を実施することができました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

明日から子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。この期間は、普段の生活ではなかなか学ぶことのできない継続的な学習や体験的な活動に取り組める機会です。また、家族の一員としてのお手伝いなどご家庭を中心とした生活になります。この夏休みを有意義なものとするためにも、ご家庭において熱中症対策、感染症対策に取り組んでいただくとともに、健康三原則の食事・睡眠・運動についてお子様へのご指導を引き続きよろしく願います。2学期の始業式は、8月26日(火)です。

教職員一同、附属小学校589名の元気な笑顔に再会することを心待ちにしています！！

## 夏休みの生活について！

### ①夏休みならではの体験をしましょう

たくさんの体験的な活動、継続的な観察、体力づくり等の取り組み、普段はふれ合う機会のない人との交流など、長期の休みを利用した活動に取り組みましょう。「Learning by Doing」夏休みこそ、成長途上の子供たちにとって「なすことによって学ぶ」貴重な機会となります。また、地域の行事に参加するなど、地域の人たちと繋がる機会にもしてあげてください。

### ②規則正しい生活を送りましょう

地域のラジオ体操等を利用して、生活習慣を整えましょう。一日の計画を立て、午前中は学習に取り組むなど、自律的な一日が過ごせるよう、ご家庭での話し合いをお願いします。夏休み中は、生活上の自立を図る意味から、できる限り自分のことは自分でできるよう、ご家庭でのご指導とご支援をお願いします。

### ③家族や地域の一員として過ごしましょう

学校でも、給食・掃除などの当番や係活動をしています。ご家庭でも家族の一員として、子供のできる仕事を任せ、丁寧にやり遂げる習慣が身に付くようご指導をお願いします。また、多くの価値観や文化に触れる絶好の機会となりますので、地域の行事に積極的に参加するようお声かけをお願いします。

### ④安全に生活しましょう

・危険なものや場所に近づかない ・不審な人に出会ったら「いかのおすし」の合言葉を思い出して行動する ・出かける時には「どこへ、誰と行くのか」「何をして、いつ帰るのか」などを家族に必ず伝える ・SNSのトラブルに巻き込まれないよう、スマートフォン・通信機器(ゲームを含む)の設定を家族で話し合う ・自転車に乗るときの約束を守る

・・・誰もが事件や事故に巻き込まれる可能性があります。子供たちが自ら危険を回避し、自らの命を守れるようにするためには、大人からの具体的で継続的な働きかけが必要です。ご家庭でのご指導を引き続きよろしく願います。

# 通信表「のびゆくあおぎりの子」をお届けします

学期末に当たり、通信表「のびゆくあおぎりの子」をお届けします。この1学期間、589名の全校児童一人一人の成長した部分とともに、さらなる成長が望める可能性が記されています。その内容や早さは、それぞれの子供によって異なりますが、私が4月以来見つめてきた子供たちの姿は確かに前進しています。

ある子供は、ぞうきんで上手に廊下が拭けるようになりました。ある子供は、みんなの前で大きな声で発表が出来るようになりました。ある子供は新しい計算方法を習熟し、またある子供は端末を用いた発表が得意になりました。各ご家庭においても、通信表をツールとして、この1学期のお子さんの頑張りに耳を傾け、たくさんお褒めの言葉をお伝えいただくことが、何よりの励みになることと思います。よろしくお願いします。



## 公開研究会が終わりました

6月21日(土)には、今年度の研究成果と本校の子供たちの学びの姿を県内外の先生方にご覧いただく機会として、初等教育公開研究会を実施しました。

今年度より、研究主題を新たに「ともに学び、自ら越えていく子供」として、子供の自律的な学びの在り方について提案し、県下の教育活動充実のために先行的かつより具体的な実践を提供できるよう取り組んできました。当日は、1年生から6年生まで、14本の授業を公開し、参加された550名を超える先生方から、子供たちの発達段階に応じた自律的な学びの姿について、多くのお褒めの言葉をいただきました。

また、学校委員の皆様には、休日の朝早くから暑い日差しの中、献身的に運営業務に取り組んでいただきました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

※HP版では非表示としています。

※HP版では非表示としています。

## 副校長のつぶやき・・・

▼1学期間、学校だより「あおぎりの花」をお読みいただきありがとうございました。2学期以降も、学校全体に関わる取組の様子や、学校の考え方、保護者の皆様へのお願い等紙面の許す限りわかりやすくお伝えしていきたいと思えます。

▼さて、私は、教育上「涵養（かんよう）」という言葉大切にしています。この言葉には、「自然に水がしみこむように徐々に養い育てること」という意味があります。子供の将来の自立に向けた様々な力＝「豊かな情操や規範意識」、「自他の生命の尊重」、「自己肯定感・自己有用感」、「他者への思いやり」、「対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力」、「困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力」等は、一朝一夕に育成されるものではなく、集団生活における様々な経験を通じて培われ、子供の内面にしみこんでいくものです。

▼学校は、それぞれの教育方針をお持ちのご家庭から、生活環境の異なる、多様な特長や個性をもった589名の子供たちが集まり、学習や行事を通じて目標に向かって活動する場所です。そこには、人間関係を中心に、日々心が震えるような感動の場面もあれば、意見の衝突や行き違いをきっかけとしてトラブルが起きる場面もあります。いわば大人社会の縮図とも言える場所です。

▼避けられるトラブルは避けた方が良く、しかし、発達途上の子供だからこそそれは起きるし、トラブルを通して身に付く力もあります。2学期もその都度丁寧に子供の気持ちに寄り添い、素晴らしい個性をもつ本校589名一人一人の自立に向かう力の「涵養（かんよう）」にも努めて参ります。2学期も保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。